



平成26年度の自然学校を振り返って

平成26年度の本校での自然学校は、11月末で終了し51グループ73校の利用がありました。今は、今年度の活動を振り返るために、利用校からの実施報告書をもとに課題や改善点等をまとめ、来年度に向けて準備を進めています。

実施報告書で、自然学校実施後の成果や感想を記載してもらっていますが、利用校の素晴らしい実践がたくさんありました。自校の取組を振り返るとともに、他校の取組を参考にして、来年度の自然学校に活かしてください。

・この学年の児童の特徴として、自分で決断する力が弱いことが見られたが、さまざまな活動を通して、自分で考え行動する姿が芽生え始めたように思える。また、協力しなければ活動できないプログラムを取り入れることで、仲間と力を合わせて得られる達成感を味わったようである。昼間と夜の自然を感じるプログラムを入れたことで、経験したことのない自然の良さを感じ、自然の中に自分が居させてもらっているという心情が少しではあるが芽生えたようである。



・普段の学校生活ではできない体験を通して、児童は多くのことを学ぶことができた。また、家族と離れて生活することにより、生活することの大変さに気づき、家族への感謝の気持ちを抱くことができた。



家庭に帰ってから、自分でできることは自分でする、手伝いを自主的にするなど、体験前にはなかった子どもの姿がいくつか見られ、家族も喜んでいる。

・プログラム構成の段階で、良いアドバイスをいただき、ゆとりのあるプログラム作りができた。普段の学校生活ではできない学習を組むことができ、子どもたちで活動する意味を持たせられ、達成感を感じていたように感じる。

・本年度に取り入れたひのき伐採の活動は非常によいと感じた。ひのきを切り倒すために36人全員で協力することができた。また、伐採したひのきをグループで小分けにしたり枝打ちをしたりし、それを使って木工クラフトでそれぞれ思い思いの作品をつくることができた。木工クラフトの際は自分たちで伐採したこともあってか、とても熱心に取り組んでいたように感じる。その他、火おこし活動など、友だち同士で協力しあきらめずに最後まで取り組む姿が見られた。個人個人としても、クラスとしても成長できた5日間だったのではないかと思う。

・梅雨時期で天候を心配したが、素晴らしい施設・豊かな自然の中で、全てのプログラムができ、子どもたちは充実した体験を行うことができた。フリータイムや余裕の時間を設定し、時間に追われない活動になるよう心がけた。友だちの違った一面に気づくことができた。





・普段体験できないような経験ができ、児童も積極的に取り組むことができました。また、活動の中で仲間とぶつかることもありながら、協力の必要性も十分に感じたと思います。自然学校で学んだことをこれからの学校生活で活かしてほしいなと思っています。

・前半では個人のわがままな行動が目立っていたが、後半では集団行動や班の仲間を思いやる行動が少しずつ増えてきた。特に、竹田城跡登山では声を掛け合ったり励まし合ったりする姿が見られ、仲間と一

緒に達成感を味わうことができたようである。また、一緒に過ごす時間が多いので、これまであまり関わらなかった者同士が関わるができたり、クラスの子の普段の学校生活では見つけられなかった者同士が関わるができたり、クラスの子の普段の学校生活では見つけられなかった良さを見つめることができたりしたようである。

・子どもたちは、班を基本としてともに行動しようとしていた。普段は自分勝手な面も出てしまうことが多いが、それを我慢して、お互いの意見を聞き合ったり、励まし合ったりする姿が見られた。また、「新発見」をテーマにしたことで、それを意識して、自然のこと、友だちのこと、さらに自分のことを「見よう」として、見つけたことを言葉で表現することができた。



・班やクラスに関係なく、どんなことも協力して活動に取り組み、南但馬の自然や地域の人々と触れ合う子どもたちの姿を数多く見ることができた。児童一人ひとりが、自分たちの住む地域とは違う南但馬の自然の豊かさを肌で感じ、各自の興味関心に基づいて活動することができた。一週間を通じて天候に恵まれ、予定通りに全プログラムを実施することができ、テーマにそった活動ができた。

・どの活動においてもやりきったという達成感を感じ、自信につながったように思う。集団生活を通して、協調性・自主性・責任感が身についたように思う。

・5月という早い時期でしたが、班で協力して仲間を思う心が養われたと思います。本校では初めて3グループに分けて活動しましたが、スムーズに進んだと思いました。

・本校5年生児童にとっては、自分たちでプログラムやめあてを立てた野外体験が初めてだったため、事前に取り組んだ活動（実行委員会や学年集会）では、1学期から計画を立て取り組ませってきた。「自分たちで考え、行動する自然学校」として児童にとっては学校では得られない経験ができたと思います。まだ、力の足りない部分もありましたが、帰ってきてからの児童の行動に変化が見え始めてきました。



・「自分で考え、自分で行動する」ことをめあてに設定した。めあてをしおりに入れたり、指導を重ねたりすることで、子どもたちに意識付けができた。

（各利用校の実施報告書より、学校名を入れずに一部抜粋しています。なお、文章は原文のまま用いられていますが、文章と写真の学校は、必ずしも一致していません。写真は、ホームページで一度アップしたものを再度、掲載しています）

編集後記

実施報告書には、「自然学校での学びが、その後の生活に活かされている」と感じる実践が多くあります。参考になる実践は、次年度以降に取り入れてもらいたく、今回の「指導課だより」を作成しました。
(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)